

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|-------------|----|--------|-------------|
| ○事業所名 | 障害児保育園ヘレン経堂 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年10月24日 | | ～ | 2024年11月10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 13 | (回答者数) | 10 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年10月24日 | | ～ | 2024年11月30日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 21 | (回答者数) | 16 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年1月31日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 長時間、親子分離でのお預かりをしています。一人ひとりの健康や成長発達に応じながら丁寧な関わりを行っていることです。 | 遊びや生活の中で、楽しい経験を通じて育つ力を引き出す環境を整えていることです。保護者が安心して就労できるように健康、成長発達を多職種連携して支えています。 | 園内の情報共有、各職種のMTGを適切に行っています。また、保護者との丁寧な情報共有に加えて、関係機関とも更に連携していきたいと思えます。 |
| 2 | 個別支援計画作成時などの時には、児童発達支援管理責任者・スタッフでモニタリングを必ず行っています。健康や成長について共通理解をしながらより良い遊びや活動を行っています。 | 各職種、各クラスの会議、モニタリングなどを行っています。スタッフ全員でこどもの最善の利益を意識しています。 | 今後も会議などをこまめに行うことや、研修を受講していくなど専門性を高めていきたいと思えます。 |
| 3 | 地域の方に開かれた運営を行っています。 | 今年度はフードパントリーを行ったことにより、地域の方の来園が増えました。 | 今後も地域の方に来園いただけるような催しを検討します。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 保育園・認定こども園・幼稚園との交流が少ないことです。 | 近くに保育所等が少ないこともあり交流を持つことができませんでした。しかし、同施設内の一時保育室や子育て広場との交流を行っています。 | 今後も一時保育室や子育て広場との交流を活発に行いたいと考えています。保育所等とも交流できるように整えていきます。 |
| 2 | 建物の2階にあるため災害時避難行動に困難が予想されることです。 | 災害時には停電によりエレベーターは使用できなくなると考えられるためです。 | 抱っこひもなどを使用しての避難訓練を行っています。また、センター内の防災訓練や打ち合わせを行っていて、他階からのヘルプをしていただけるように訓練しています。避難用のカートを1階に準備するなど、防災訓練などを繰り返し行い、より安全に避難できるように準備していきます。 |
| 3 | | | |